

全木連時報

12月25日(木曜日)
(第609号)(毎月25日発行)
平成20年(2008年)

発行所
社団法人 全国木材組合連合会
編集人 尾 蘭 春 雄
東京都千代田区永田町2-4-3 ☎(3580)3215
URL <http://www.zenmoku.jp>



木材産業シンボルマーク

昭和33年12月15日第三種郵便物認可

定価 年500円

【全木連時報】の購読料は年会費に含まれています。

全木連 理事会・臨時総会開く 全木協連

役員補充など承認決定

全木連、全木協連は、十一月二十日、東京虎ノ門パス
トラルで、それぞれ理事会、臨時総会を開き、平成二十
年度補正予算、役員補充、副会長の選任など所定の議案
をすべて承認・決定したほか、活動状況などを報告した。
また、引き続き、政治連盟の常任委員会を開き、役員補
充ほか活動状況を報告した。



全木連

理事会・

臨時総会

全木連の会議は午後一時から開
始。冒頭、この秋の叙勲・褒章受
章者を事務局より紹介し、出席者
全員の拍手で祝福した。

次いで、並木会長が挨拶に立ち、
「先に開催の木材産業振興大会は
木材業界の意志を結集する場とし
て大きな成功を収めた。関係者の
努力に感謝。わが国の経済は、景
気の後退が懸念され、木材産業は
先行き不透明、深刻な状況が続い
ている。全木連は木材産業振興大

会で、木造住宅の着工増対策と林
業・木材産業のセーフティネット対
策等を内容とする『特別決議』を
行い、政府・与党等によるその実現を強
力にお願いしてきたところである。
二十一年度概算要求、税制改正要
望についても木材業界にとつて重
要な施策が盛り込まれている。概
算要求の確保などに向けて一層の
活動強化が重要である。また、一
方、消費者・需要者重視のしつかり
した木材供給加工体制が求められ
ている。木材産業の再興に向けて
業界あげて努力していく必要があ
る。」と強調した。

その後、並木会長を議長として
議事が進められ、最初に総会事項
を審議した。

まず、平成二十年度補正予算を
事務局説明を受けて原案どおり承
認決定した。役員補充は、本年五
月の総会以降、各会団の役員異動
に伴うもので、次のとおり決定し
た(敬称略、カッコ内は前任者・
所属)

▼理事 松原正和(小笠原弘・
北海道)、齋藤渉(清水信造・青森、

- 目次
- 一面 全木連・全木協連理事会・
総会を開き役員補充など所
定の議案を承認決定
- 二面 振興大会の決議の実現に向
けての対応状況
- 三面 外材委員会開催 国産材の
使用が法律に明記 木の住
まいツアー
- 四面 会議日程、景況調査

朝田宗弘(小松吉昭・福島)、山田
幸志(小池善英・富山)、細川忠國
(齋藤敏・長野)、鈴木和雄(上地
宏保・愛知)、黄瀬稔(辻本林義・三
重)、三吉庸善(安来賢吉・島根)、吉
野一(酒田三男・山口)。

また、理事の交代に伴い、理事
会では、北海道支部、東海支部か
らの推薦にもとづき、副会長を次
のとおり決定した。(敬称略)

▼副会長 松原正和(北海道支
部)、鈴木和雄(東海支部)。

このほか、以下の十二項目の報
告を行い、会議を終了した。

- ① 木材・住宅建築対策本部の対応
状況
- ② 総合経済対策
- ③ セーフティ
ネット金融保証対策
- ④ 平成二十一
年度木材関係予算要求の概要
- ⑤ 平
成二十一年度税制改正要望の概要
- ⑥ 排出量取引における木質バイオ
マスの活用
- ⑦ ロシアの丸太輸出税
に関する報道
- ⑧ 公益法人改革への
対応
- ⑨ 製材JAS検査事業の適正
な実施
- ⑩ 各種事業の実行状況等
- ⑪ 次期全国木材産業振興大会の開催
日程
- ⑫ 平成二十一年度全国会議日程に
ついて。

全木協連理事会・臨時総会

全木協連の会議は、全木連に引き続き、午後三時より開始した。まず、吉条会長が挨拶。「世界的規模での景気後退が進んでおり、木材産業についても事業活動が深刻化している。全木協連は全木連と一体になって、関係機関への要請などに努めている。政府も補正予算や追加経済対策を打ち出しており、当会も、追加経済対策の早期実現、二十一年度木材関係予算・税制対策の実現に向けて取り組ん

全国木材産業振興大会の決議

実現に向けての対応状況

十月二十二日開催の全国木材産業振興大会では、次の宣言決議と特別決議が採択された。その実現に向け、中央および都道府県段階で要請活動が行われているが、その状況は別表のとおりである(十一月十七日現在、全木連集計)。

▼宣言決議

一、木材産業の危機突破のため、総合的な緊急対策を早期に実現しよう

一、住・生活空間への木材利用の拡大、木質バイオマスの活用・普及を推進しよう

一、違法伐採対策を前進させ、合

法木材の普及・利用推進に取り組もう

一、安全・安心への期待にこたえ、JAS製品など、信頼性の高い木材の普及・定着に全力を挙げよう

一、炭素を固定する木材利用推進減税、住宅ローン減税、森林吸収源対策の税制を実現しよう

▼特別決議

一、景気回復に向けて総合的な追加経済対策を実現しよう

一、木造の住宅・公共施設等の着工増対策や林業・木材産業のセーフティネット対策等の充実強化を実現しよう

区 分	要請者数	内 訳		
		衆議院	参議院	その他
全木連	18	7	4	7
北海道	30	20	7	3
青森	6	4		2
宮城	15	10	5	
秋田	4	2		2
福島	15	9	6	
茨城	14	7	2	5
栃木	14	7	1	6
群馬	14	5	4	5
埼玉	77	25	8	44
千葉	13	11	2	
東京	3	3		
富山	9	2	1	6
福井	5	3	2	
長野	22	8	4	10
岐阜	38	7	4	27
静岡	10	8	2	
愛知	17	14	2	
滋賀	15			15
京都	9	6	2	1
大阪	24	2		22
和歌山	5	3	2	
鳥取	4	2	1	1
岡山	7	7		
広島	8	2	1	5
山口	8	3	2	3
徳島	5	2	1	2
香川	8	4	2	2
愛媛	8	4	3	1
福岡	12	10	2	
佐賀	5	4	1	
長崎	5	4		1
熊本	8	6	2	
大分	9	3	2	4
宮城	3	2		1
鹿児島	10	6	4	
鹿島				
計	477	222	79	176

議事を進めた。

まず、総会事項として、平成二十年年度補正予算を事務局の報告を受けて承認決定した。役員補充では、五月の総会以降の会員団体の役員異動に伴い、次のとおり決定した。(敬称略、カッコ内は前任者・所属)。

▼理事 〓 松原正和(小笠原弘・北海道)、齋藤涉(清水信造・青森)、朝田宗弘(小松吉昭・福島)、山田幸志(小池善英・富山)、細川忠國(齋藤敏・長野)、黄瀬稔(辻本林義三重・文野隆(中村宗良・島根))。

理事会事項では、まず、平成二十年年度中間事業報告を事務局より報告のうえ、承認決定した。

次いで、理事交代にともなう副会長の選任を行い、北海道ブロック、北陸・東海ブロックからの推薦にもとづき、次のとおり決定した。(敬称略)

▼副会長 〓 松原正和(北海道)、山田幸志(北陸・東海)。

このほか、① 中型グループ共済 保険加入促進の取組み強化 ② AI U 保険会社からのお知らせ ③ 利子助成、リース助成事業の効果的活用 ④ 次期全国木材産業振興大会の開催 ⑤ 平成二十一年全国会議日程について報告し、会議を終了した。

企業経営に安心を提供します

全木連グループの各種保障制度

おかげさまで30年

中型グループ

従業員のために

中型グループ

総合賠償補償制度

第三者への事故対策に

任意労災保障制度

労働災害への対策に

経営者のために

総合保障プラン

木退共

従業員の退職金の準備に

積立終身

経営者の退職金などの準備に

全国木材協同組合連合会

〒100-0014 東京都千代田区永田町2-4-3

TEL 03-3580-3215(代)

ケガ・病気になるなどの備えに

全木連外材委員会を開催



を受けた。

外材委員会は各支部から推薦された委員で構成される委員会。

開会に次いで、林野庁の赤木木材貿易対策室長から、WTO関係の最近の動向、ロシア丸太輸出税引上げ問題、違法伐採関連の問題について説明を受けた。

次いで、本会議の主要議題である各地の情勢について、各委員から報告がなされた。荷動きの悪さ、先行きの不透明さ、海上運賃の不安定、原料丸太の合板需要とのバランス、急激な先安観への変化など、今年の難しい状況が語られたほか、国産材へのシフトの問題点なども指摘された。

このほか、全木連から、輸入材の合法性証明の現状、木材・住宅建築対策本部の対応状況、総合経済対策について報告した。

国産材の使用が法律に明記

長期優良住宅促進法

十一月に国会で「長期優良住宅の普及の促進に関する法律案」が修正のうえ、可決された。

可決された修正案では、「国及び地方公共団体は、長期優良住宅の

普及を促進するために必要な人材の養成及び資質の向上に努めなければならない。」長期優良住宅の維持保全を業として行う者は、長期優良住宅の所有者又は管理者に対

森林から住宅に なるまでを 見学



全木連は「森につながる木の住まいツアー・セミナー」を十一月二十九日に開催した。

これは、消費者等を対象に、森林で生産された木材が加工されて住宅になるまでの一連の流れを見ていこうというもの。

埼玉県飯能地区をめぐるコースで行われた。写真はその様子。

し、当該長期優良住宅の維持保全を適切に行うために必要な情報を提供するように努めなければならない。」とされた。

また、国は長期優良住宅の普及を促進するため、「住宅の建設における木材の使用に関する伝統的な技術を含め」長期使用構造等に係る技術に関する研究開発の推進及びその成果の普及に努めなければ

ならない。としたほか、「国土交通大臣は、基本方針を定めるに当たっては、国産材（国内で生産された木材を言う。以下同じ）の適切な利用が確保されることによりわ

が国における森林の適正な整備及び保全が図られ、地球温暖化の防止及び循環型社会の形成に資することにかんがみ、国産材その他の木材を使用した長期優良住宅の普

及が図られるよう配慮するものとする。」などとされた。

「国産材」という文字が法律に明記されたのは画期的であり、かつ、その利用が地球温暖化防止などに役立つため住宅への使用に配慮するという利用と環境への効果の関連が記されたのも新しい。

景況調査＝全木協

20年11月分集計表 ()内は実数

〔流通部門〕

モニター数134 回答数95 回収率71%

当月の状況

販売量	増加22% (21)	変わらず39% (37)	減少39% (37)
仕入量	増加21% (20)	変わらず37% (35)	減少42% (40)
販売価格	上昇11% (10)	変わらず82% (78)	下降7% (7)
仕入価格	上昇18% (17)	変わらず71% (68)	下降11% (10)

来月の見通し

販売量	増加12% (11)	変わらず48% (46)	減少40% (38)
仕入量	増加15% (14)	変わらず41% (39)	減少44% (42)
販売価格	上昇9% (9)	変わらず77% (73)	下降14% (13)
仕入価格	上昇14% (13)	変わらず68% (64)	下降18% (17)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	6% (6)	70% (65)	24% (22)
南洋材	18% (14)	70% (55)	12% (9)
北洋材	46% (36)	41% (33)	13% (10)
国産材	6% (5)	77% (68)	17% (15)
建材	11% (8)	59% (45)	30% (23)

乾燥材取引の頻度	増加 11% (10)	変わらず 88% (77)	減少 1% (1)
----------	----------------	------------------	--------------

〔製造部門〕

モニター数149 回答数114 回収率77%

当月の状況

販売量	増加24% (27)	変わらず39% (44)	減少37% (42)
仕入量	増加27% (31)	変わらず36% (40)	減少37% (42)
販売価格	上昇7% (8)	変わらず87% (98)	下降6% (7)
仕入価格	上昇19% (22)	変わらず76% (85)	下降5% (6)

来月の見通し

販売量	増加11% (12)	変わらず50% (56)	減少39% (44)
仕入量	増加12% (13)	変わらず63% (71)	減少25% (28)
販売価格	上昇4% (5)	変わらず82% (91)	下降14% (16)
仕入価格	上昇9% (10)	変わらず78% (87)	下降13% (15)

3か月後相場予想	強含み	保ち合い	弱含み
米材	12% (6)	54% (27)	34% (17)
南洋材	11% (4)	67% (25)	22% (8)
北洋材	34% (15)	43% (19)	23% (10)
国産材	16% (15)	54% (49)	30% (27)

プレカットの動向

受注後、加工までの待ち時間	1ヵ月以内 79% (15)	1ヵ月 21% (4)	1ヵ月以上 0% (0)
---------------	-------------------	----------------	-----------------

平成21年 全国会議等の日程

月	日	曜日	時間	会議名	場所
2月	19日	木	11:00-12:00	木材・木製品製造業労働安全事務局会議	バストラル
			13:00-17:00	全木連、全木協連合同常勤役員・事務局長等会議	
3月	25日	水	11:00-12:00	全木連、全木協連、全木政連、木退共 合同正副会長・支部長会議	バストラル
			13:00-15:00	全木連、木退共 理事会・通常総会	
			15:00-16:00	全木協連 理事会・臨時総会	
			16:00-16:30	全木政連 常任委員会	
5月	12日	火	13:00-14:00	全木連、全木協連、木退共 合同正副会長・支部長会議	バストラル
			14:00-15:45	全木連、木退共 理事会・通常総会	
			15:45-16:45	全木協連 理事会・通常総会	
			17:00-19:00	木材産業を語る夕べ	
5月	13日	水	10:00-11:00	全木検 理事会	バストラル
			11:00-12:00	全木検 通常総会	
			12:45-13:30	全木政連 正副会長会議	
			13:30-16:30	全木政連 通常総会	
7月	23日	木	13:00-14:00	木材・木製品製造業労働安全事務局会議	バストラル
			14:00-17:00	全木連・全木協連合同常勤役員・事務局長等会議	
7月	24日	金	9:00-17:00	全木連・全木協連合同常勤役員・事務局長等会議	バストラル
10月	23日	金		第44回 全国木材産業振興大会	東京商工会議所 (東商ホール)
11月	19日	木	11:00-12:00	全木連・全木協連・全木政連 合同正副会長・支部長会議	メルパルク東京
			13:00-15:00	全木連 理事会、臨時総会	
			15:00-16:00	全木協連 理事会、臨時総会	
			16:00-16:30	全木政連 常任委員会	

林業・木材産業事業者の方々に必要な事業資金の債務保証を行います

お役に立ちます

林業・木材産業信用保証

私どもは昭和38年創立以来、林業・木材産業を専門に信用保証を行う公的機関です

- (対象業種)
- 造林・育林
- 素材生産
- 木材・木製品製造
- 薪炭生産
- 林業種苗生産
- きのこ生産
- 木材卸売



独立行政法人 農林漁業信用基金 (林業部門)

〒101-8506 東京都千代田区内神田1丁目1番12号 (コービル11階)

TEL 03(3294)5581 FAX 03(3294)5595 URL www.affcf.com